


Ver.1.0 2024年4月1日 策定

恐山菩提寺文化サイト モニタリングマニュアル

モニタリングを実施した場合は、様式「モニタリング確認書」へ必要事項を記入の上、定点観測の写真
を添付し、下北ジオパーク推進協議会事務局まで提出をお願いいたします。

1. 簡易カルテ

名称	恐山菩提寺	エリア区分	恐山	
所在地	むつ市	トイレ	あり	
アクセス	JR 下北駅から車で約40分			
駐車場	あり	看板	ジオ看板:なし その他看板:あり	
説明	<p>宇曾利山湖の湖畔にある恐山菩提寺は、平安時代の862年に慈覚大師円仁(じかくだいしえんにん)和尚によって開かれたと伝えられている。一時荒廃したが、室町時代の1530年に曹洞宗吉祥山円通寺の開山である宏智聚覚(わんしじゅがく)和尚が再興した。本尊の延命地蔵菩薩が安置される地蔵殿の周辺には、地獄にもたとえられる、火山ガスが噴出し、硫黄臭のただよう荒涼とした風景が広がっている。一方、宇曾利山湖の畔に広がる岩石の風化生成物からなる白い浜は青みを帯びた透き通った湖水があいまって、極楽を思わせる神秘的な風景を構成している。</p> <p>下北半島では古くから「死ねばオヤマ(恐山)さ行ぐ」という信仰があり、かつて日本各地にあった「山中他界観」が根強く残っている。</p>			
想定される 事態	気候変動などによる環境の変化により、恐山特有の景観の変化が想定される。			



○恐山菩提寺文化サイトのモニタリング位置



2. 定点観測

サイト内で見られる特に重要な景観、保全すべきものを定点観測対象物とする。下記定点観測対象物を定点観測場所から撮影し、撮影した日付を記載し協議会事務局へ報告する。

定点観測対象物①「地獄にたとえられる風景」



定点観測の理由

山中他界観の信仰が育まれる恐山特有の景観を一望できるため。

定点観測場所



奥の院不動明王に向かう階段の下から5本目の柱から慈覚大師堂に向かって撮影。

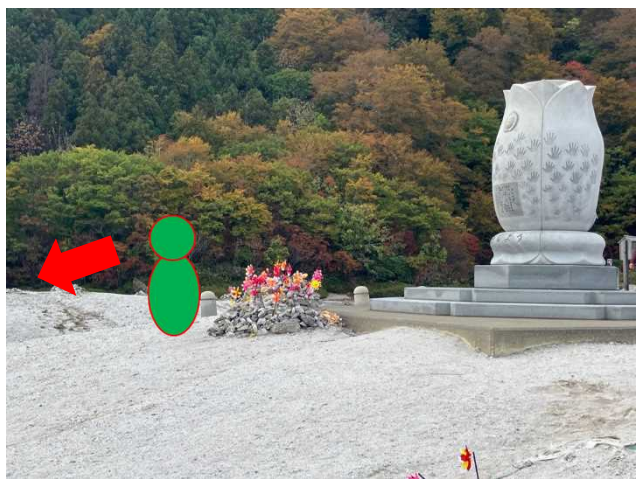
定点観測対象物②「極楽浜」



定点観測の理由

極楽浜と大尽山の双方の様子を確認でき、山中他界観の信仰が育まれる恐山特有の景観を一望できるため。

定点観測場所



東日本大震災供養塔の後ろから対象物に向かって撮影。

3. その他確認事項

異状があった場合は異状箇所を撮影し、現場の詳細を様式「モニタリング確認書」に記入の上、協議会事務局へ報告する。また、緊急性の高い異状については、確認時に事務局までご連絡ください。

4. 異状発見報告があった場合

モニタリング実施者から異状報告があった場合は、下記の流れで関係団体へ報告を行う。

事務局は、現場の状況を確認し、必要に応じ、ホームページやチラシなどで地域住民や来訪者に対し周知を行う。

